

学校保健委員会だより



《学校保健委員会とは》

学校における児童の健康問題を、学校と家庭や学校三師の先生（学校医・学校歯科医・学校薬剤師）、地域の関係機関と一緒に話し合い、健康づくりを推進する組織です。

10月29日（火）に令和元年度学校保健委員会が開催されましたので、そのようすを紹介します。

【参加メンバー】

学校医 一林先生

学校薬剤師 西島先生

津幡町健康推進課 課長 石黒さん

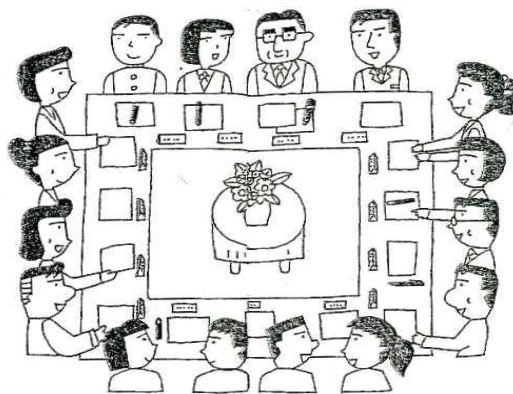
PTA 会長 舟木さん

PTA 家庭教育部長 山中さん

PTA 家庭教育部員 中島さん

PTA 家庭教育部員 本間さん

学校教職員（校長・教頭・教務主任・保健主事・栄養教諭・養護教諭）



【議案】

- ・津幡小学校の児童健康診断等の結果
- ・歯科保健の取組
- ・食育の取組

これらについて、栄養教諭と養護教諭の報告をもとに児童の健康問題を洗い出し、今後の活動について話し合いました。

《協議の中で話し合われた子どもたちの健康問題について》

児童健康診断等の結果について

- ・視力は昨年度と同様、全国と比べて良くない児童は常に多い。B以下の児童数の割合も、町内平均より多い。はっきりとした原因は言えないが、津幡小はメディアに接する時間が長い児童が多いことがわかるアンケート結果もあったので、関連があるのではないかと考えている。（養教）
- ・津幡小児童の視力低下は何が原因なのか、他校の様々な状況と比較して検討し、はっきりと示せるものが出せると良い。（学校医）

歯科保健の取組について

- ・例年、本校は歯科受診率が低く、平成30年度は受診率を上げるために保護者への勧告を繰り返したところ成果が見られた。しかし、他の町内小中学校と比較するとまだ低い方である。（養教）
- ・歯磨きボードは学校でかなり浸透してきている。また、家でも歯磨きをきちんとやらないといけないという意思を学校で示す児童が増えてきたように実感している。しかし、学級間では歯磨きへの声かけの格差があるので、教職員の共通認識が大事だと考える。（保健主事）
- ・受診に関しては大人の意識が大切。保護者もそうだが、まずは教職員の意識の向上として今年度は県主催の『歯周病予防出前講座』を本校で開催した。（養教）
- ・歯科受診のお知らせを子どもが家で出さないのわからないことがある。用紙の色を変えてわかりやすくしたらよいのではないか。（保護者）
- ・学校では、担任が児童に用紙を渡す際には『学校に返却する大事な紙である』ことを伝えるようにしている。用紙の色については検討する。（学校）



食べたら歯みがき！！



出前講座で、歯周病の検査をしました

食育の取組について

- ・朝食を食べている児童がほとんどだが、その内容が心配である。（栄教）
- ・朝食は食べるものの量より質が大事だと考える。（学校薬剤師）
- ・給食まで持つだけの量でも十分なのではないか。（学校医）
- ・津幡町は AYT(朝野菜を食べよう運動)に取り組んでいる。家庭と連携していきたい。（健康推進課）

《今年度の取り組み》これらの健康問題を解決するために！

地域学校保健委員会の開催

テーマ

「生涯にわたって、自ら歯と口の健康づくりをしていく児童生徒を育成するために～校種でつなぐ歯科保健の推進～」

1月23日（木）に、町内全ての小中学校合同で学校保健委員会を行います。歯と口の健康づくりに関しては、小中学生のうちはまだまだ大人の意識が大切です。そこで今年度は、大人向けの啓発を重視し、従来のすすく集会ではなく地域の大人が集まる会を開催します。

学校三師の先生方や町保健担当者、幼稚園・保育園・こども園職員、PTA関係者、学校教職員等が一堂に会し、津幡町全体の現状を知ったり、貴重な講演を聞くことができる会になっております。

学校・保護者・地域が課題を共有し、その解決に向かって一緒に取り組んでいけるようなきっかけになればと思います。

子どもたちの健康は、決して学校だけでは守れるものではなく、家庭・地域が一体となり、連携しながら守っていかねばならないと考えています。

詳細は、日が近づきましたらお知らせします。たくさんの参加をお待ちしております。